

令和7年度 認定こども園ひかり幼稚園 自己評価

		評価	
基本項目	1	保育の基本(保育指針・教育要領)を理解している。	B
	2	園の理念や保育目標を理解している。	B
	3	園の全体的な計画(保育課程・教育課程)を理解している。	B
	4	定期的に自己評価をして、保育の改善に努めている。	B
	5	自分の保育のよさと課題を認識している。	B
	6	保育雑誌や専門誌などを读んだりして、保育の情報を集めている。	B
	7	業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。	A
生命の安定保持・	1	ひとりひとりの発達を理解して接している。	B
	2	子どもが何を求めているか、配慮して接している。	B
	3	わかりやすい言葉でおだやかに話しかけている。	B
	4	制止やせかす言葉を不必要に使わず、ひとりひとりに合わせた対応をしている。	B
健康・安全	1	食事や排泄などの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している。	B
	2	偏食や食べ残しを直すために過度に叱らないように配慮している。	A
	3	トイレの後や食前の手洗いなど、清潔にする習慣が身に着くよう働きかけている。	A
人とのかかわり	1	友だちとのかかわりで、友だちの良さや大切さに気付くようにしている。	B
	2	子ども同士が互いの気持ちや発信を受け入れられるように配慮している	B
	3	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している。	B
	4	家族の愛情に気付き、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	B
	5	異年齢の子どもとかかわることを大切にしている。	B
	6	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している。	B
表現活動	1	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会をつくってる。	B
	2	感じたことや考えたことを自由に表現する機会をつくっている。	B
	3	子どもが自由に歌ったり、踊ったりすることを楽しめるようにしている。	B
	4	子どもの作品を大事に扱い、工夫して飾るなどしている。	B
言葉	1	心のこもったあいさつをしている。	A
	2	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を相手の気持ちを大切に して指導している。	A
	3	わからないことを子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気を作 っている。	A
保育環境	1	ひとりひとりが安心して過ごせる環境づくりを心がけている。	A
	2	四季に応じて、保育室の環境を整えている。	B
	3	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	A
	4	子どもが不安になったり、話しかけてきたりしたときに応じられるよう にしている。	A
	5	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	A

保護者との かかわり	1	すべての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている。	A
	2	緊急時は電話などで、迅速な連絡を行っている。	A
	3	すべての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている。	A
	4	送迎時や連絡帳などでの日常的な情報のやりとりを大切にしている。	A
	5	懇談会など、保護者との意見交換の機会を設けている。	A
	6	丁寧な言葉や敬語を使っている。	A
	7	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	B
ほかの 保育者との かかわり	1	園長や副園長、主幹保育教諭、同僚を尊重し、良好な関係を築いている。	A
	2	園長や副園長、主幹保育教諭、同僚の言葉を素直な気持ちで受け入れている。	A
	3	報告や連絡、相談をするように心がけている。	A
保健活動・ 安全管理	1	ひとりひとりの体調をしっかり把握し食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。	A
	2	机や椅子の配置等その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全な環境作りの努力をしていますか	B
	3	地震等の災害や火災に備え、積極的避難訓練に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか	B

A・・・よくできている B・・・ほぼできている C・・・努力が必要

園の教育方針

「なすことの 一つひとつが楽しくて いのちがけなり 遊ぶ子供ら」この句のように、子どもたちは生活の中のすべてのことが楽しく、心を躍らせ、園庭で走ったり遊具で遊んだり、泥だらけになったりしながら一生懸命遊びます。

このような経験をもとに、「遊ぶときは遊び、静かにするときは静かに」ということを自分で考え、身心ともに調和のとれた子どもに育てて欲しいと願っています。園児にとってあかるい幼稚園・うれしい幼稚園・たのしい幼稚園であることを理念としています。

意見・改善策

全体としては「ほぼできている」以上の自己評価をしているが、園児・保護者との関係性に関わる項目での自己評価が比較的に高い傾向をしめしている。他方で保育の基本と当園の教育方針に関する項目の評価は低いようである。機会ある毎に保育の基本と当園の教育方針に立ち返って自己評価を行い、反省し、改善していくことが必要であると思う。職員同士で話し合いの場を設け、一人ひとりの経験を職員全体のものとしていくことが、不足していると思われる。アンケートでの職員への自己評価の問いかけは有意義であり、保育をより良い内容のものに改善していくことが大切である。